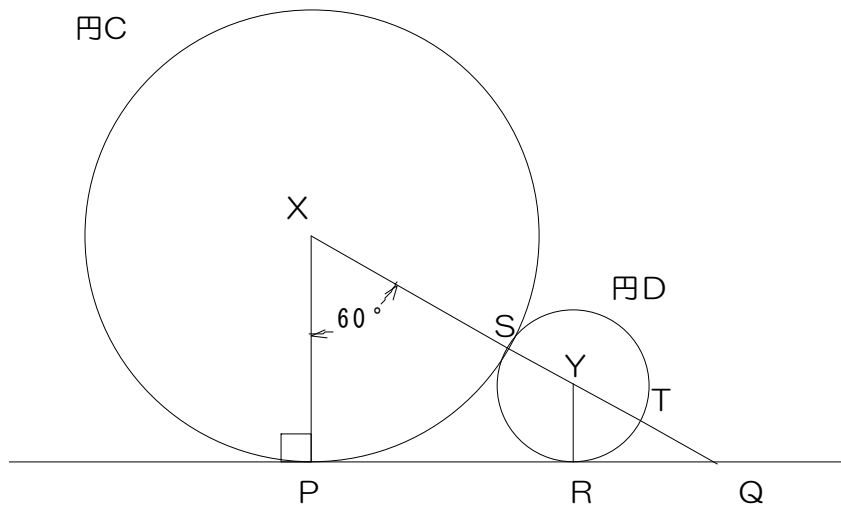


算数オンライン塾 9月7日の問題 解説

(解説)



図に置いて、角 $RYQ=60^\circ$ ですから、三角形 YRQ も正三角形の半分の直角三角形になります。したがって $YR:YQ=1:2$ から円 D の半径が 4cm であるなら $YQ=8\text{cm}$ 、 $SY=4\text{cm}$ になります。

同様に三角形 PXQ も正三角形の半分の直角三角形ですから、円 C の半径を【1】とすると $XP=【1】$ 、 $XQ=【2】$ $SQ=【1】$ となり

$SQ=4+8=12\text{cm}$ ですから、円 C の半径は 12cm になります。

$$12 \times 12 \times 3.14 = 452.16\text{cm}^2$$

(答え) 452.16cm^2